

二  
(四)ノ  
内

〇おきのり

餘燼

二十四日 暑く焼け跡を見たり一袋一物を遺すや如く火煙を

早く集熱しててばうらやましくなく水に消して即ち消す水も

損やちよ何れを消し去るかと疑はる程に増す水の勢を

感じ附進村の御湯路を由りて打ち無く焼け跡に水も運ぶ

傳ふ様子を聞くに川原の傍に由りて水の倉庫に水を注ぎ

用麻を織りたるものも其の倉庫に多く焼けたる物程の

物も有り雨後の煙を吸ふに其の倉庫に多く焼けたる物も

火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

同く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

多く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

焼けたる物も有り雨後の煙を吸ふに其の倉庫に多く焼けたる物も

火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

同く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

多く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

焼けたる物も有り雨後の煙を吸ふに其の倉庫に多く焼けたる物も

火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

同く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

多く火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

焼けたる物も有り雨後の煙を吸ふに其の倉庫に多く焼けたる物も

火災の勢も去るやしと他人の馬相とて火災の勢も去るやし

二重の  
跡の  
おきのり  
跡

水道  
のり

(2)

○

世に平治の法島市水道橋作田修氏本接せり  
 左は世用と水道の設計に  
 方好もを魚屋として  
 同久方好の知を  
 有心と何より  
 有也命と新なる水道を  
 竹籠を築とし  
 飲用水の事

○

此水道水  
 南の金  
 電機  
 二十  
 及  
 一  
 在  
 得  
 電  
 得  
 得



9)

雨の降るはくは... 知れぬは... 可成るは...  
多量ありあり  
の中... の...

...の... 知れぬは... 可成るは...  
...の... 知れぬは... 可成るは...  
...の... 知れぬは... 可成るは...

表に被  
字係  
掲出...  
此...  
之...  
仲本製

○

...の... 知れぬは... 可成るは...  
...の... 知れぬは... 可成るは...  
...の... 知れぬは... 可成るは...